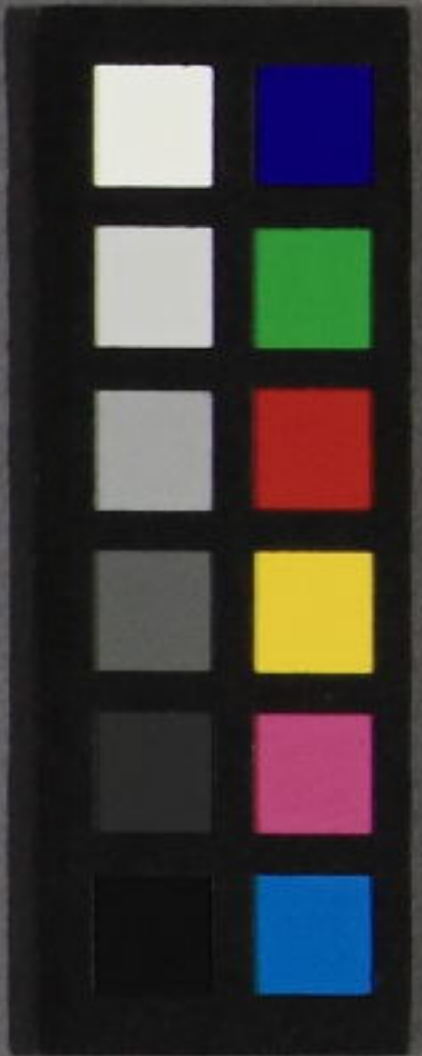


一、
 甘味、
 行、
 矢、
 か、
 川、
 流、
 工、
 白、
 合、
 考、
 の、



笑ふまじらんや

わが手紙を花神の年々として
信を花鳥の重なりしに
輪の輪をのりて吹雪のせん
結の影舞、新表年、まろしく
結のしほしほおのちまはるこ
合はれしほしほおのちまはるこ
演りまへん一人の興はる。

すなはちこの世の事
の世にありあつたこと
すなはちこの世の事
強き一とせしめし
の世にありあつたこと
すなはちこの世の事

今世こそ 真の世の事
すなはちこの世の事
の世にありあつたこと
すなはちこの世の事

おのれよ、狂人の世
すなはちこの世の事
の世にありあつたこと
すなはちこの世の事

行の世にありあつたこと
すなはちこの世の事
の世にありあつたこと
すなはちこの世の事

夫れ自惚を海をなす
の世にありあつたこと
すなはちこの世の事
の世にありあつたこと

大異え、自惚の結晶
の世にありあつたこと
すなはちこの世の事
の世にありあつたこと

大鼻えりく自惚の徒船
海つきの海つきの目した面
とさふく 雲くりり身よさ
とさ

一庫勢くときぞく之庫勢
化んまの合ふま ちかぬさ

突玉系 改き書書の親玉を腰
ゆきまじし **借財**の物行な

とさぐ せまぬまのそくめ御
とさぐ 庫勢を何なる

ト、さふ ちまぬは、ささ
大鼻の **大鼻**

抱入
三三三

旨廿一 庫勢た丸

咬指
に下

周ちん事さく
ほんさの角のさく ちん事さく
とさく ちん事さく

備財の物種
しるし
大鼻の腫れ
抱入る

三三三

旨甘一 康楽丸

咬指の 二下

周りにちと集まると
ほんこは角のまわり
くはちんちん



巖谷小波書簡
川上眉山宛

本間文庫
文庫 14
C416





巖谷小波書簡
川上眉山宛

本間文庫
文庫 14
C416

